

心を満たすいのちのみことば

イ・ジェロク牧師の著書

心を変えてくれるメッセージ、多国語に翻訳されて100冊以上発刊

秋の夜長、読書の季節が来た。

「読むべき本はないだろうか?」と探している方に、人生の知恵と永遠の人生についてのアドバイスまでしてくれる良書をお勧めする。

それは万民中央教会の堂会長イ・ジェロク牧師の著書である。その最も大きい特徴は生きた力あることばだ。どの本も深い霊的なメッセージで神の愛を伝えて、みことばの権威で読む人の心を変えてくれる。さらに悔い改めといやしのみわざも現れている。これは著者が神様に聖書を解き明かしていただくために、長い歳月、ただ祈りと断食ですごったからであろう。

インパクトあるメッセージがやさしく明快に書かれている。日本語、英語、フランス語、中国語、ヒンズー語、ヘブライ語、アラビア語などに翻訳された100冊以上が発刊され、全世界に幅広い読者層を持っている。

『私の人生、私の信仰』は、7年間、病気で生死の境をさまよっていた著者が劇的に神様に会い、世界で活躍する牧会者になるまでの信仰の歩みを率直に語った自叙伝である。徹底した神様への献身と愛が胸に迫る。

「なぜキリスト教にだけ救いがあるのか」と質問されたらどう答えようかと悩むなら、『十字架のことば』を一読することをお勧めする。神様の人間耕作の摂理と救いについて、クリスチャンとして知るべきことが集約されている必読書である。

もし天国がないならば、信仰生活は無意味だろう。信仰の量りに応じて入る天国での暮らしが描かれた『天国・上下』を読めば、天国がよりいっそう生き生きと感ぜられるだろう。

合わせて『地獄』も読めば興味深い。著者が祈りを重ねて神様から啓示された地獄の実態を知れば、魂への愛が増し加えられるだろう。

この秋、読書によって信仰が成長し、心が豊かになるよう願う。

ウリム・ブック(www.urimbook.com)



イ・ジェロク牧師の著書

イ・ジェロク牧師の「創世記講解」

天地創造と霊の世界の驚くべき奥義



毎週金曜日夜11時、超教派でささげる万民中央の金曜徹夜礼拝で、神様の創造の摂理と人間の救いについて、いのちあふれるみことばが宣べ伝えられている。堂会長イ・ジェロク牧師が「ヨハネの黙示録講解」を3年間で終え、6月26日より「第2次創世記講解」を説教している。

2000年12月1日から2006年9月29日まで、70か月間説教された230編の「第1次創世記講解」は全世界の教職者と聖徒はもちろん、一般の人にも大反響を呼んだ。その後、もう一度聞きたいという数多くの人々と全世界のGCN視聴者に、創世記の深い内容を知らせようと、第1次の講解内容を整理、補充し、第2次講解をするようになった。

今日は、科学文明の発達で進化論など神様に敵対して高ぶった思想と理論が蔓延しているのが現実である。このような時に「創世記講解」は世界的に大いに関心と話題を集めている。

今後、世界の始まる前からの神様の創造のみわざを明らかにし、神様だけが唯一の創造主であり、人類の歴史をつかさどられる方であることを確かな証拠とともに宣べ伝える予定である。「地球と宇宙の起源」「人間の創造の摂理」「エデンの園」「ノアの洪水」「ピラミッド」「ブラックホール」など、さらに興味深いテーマが展開される。イ・ジェロク牧師の「創世記講解」は現代人の意識に深く根づいている進化論の虚構性を打ち破り、真理を慕う人々に真の満足感を与えるであろう。



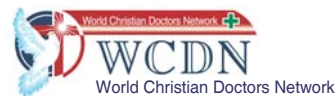
Manmin Central Church

Tel: 82-2-818-7042, 7063
Fax: 82-2-818-7048
www.manmin.org
e-mail: ksy8187042@yahoo.co.jp



MANMIN TV

Tel: 82-2-824-7107
Fax: 82-2-813-7107
www.manmintv.org
e-mail: info@manmintv.org



Tel: 82-2-818-7039
Fax: 82-2-830-5239
www.wcdn.org
e-mail: wcdnkorea@gmail.com



日本各支教会(4連絡先参照)



堂会長イ・ジェロク牧師

信仰の量り(13)

「私は、自分に与えられた恵みによって、あなたがたひとりひとりに言います。だれでも、思うべき限度を越えて思い上がってははいけません。いや、むしろ、神がおのおのに分け与えてくださった信仰の量りに応じて、慎み深い考え方をしなさい。」(ローマ12:3)

「わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛する人です。わたしを愛する人はわたしの父に愛され、わたしもその人を愛し、わたし自身を彼に現わします。」(ヨハネ14:21)

今回は信仰の一、二、三、四段階の違いを調べた後、信仰の四段階の特徴について語ります。

1. 信仰の一、二、三、四段階の違い

信仰の四段階は、主をこの上なく愛する信仰です。みことばどおり行なえる信仰の三段階を過ぎて、心の罪の性質までも捨てるので、完全に真理の中にとどまって、みことばどおり行なう段階です。

それでは、信仰の四段階と一、二、三段階にはどんな違いがあるのでしょうか？

もしある人がとんでもない話をでっちあげて皆さんを謀略するならば、どうでしょうか？ まだ信仰が少ない一段階や二段階の入り口ならば、怒りがこみ上げてきて我慢しにくいので、すぐ相手のところに行って、何が正しいのか問い詰めようと思います。わだかまりをもって議論して、語調が強くなったり、ひどい場合、荒々しい言葉で言い争ったりもします。しかし、神の子どもと言いながらこのような姿を見せるならば、とても恥ずかしいことです。信仰の二段階の中盤になっただけでも、悪を捨てるために熱心に努力してきたので、憤りや悪を目につくほど行なうことは、ある程度抑えることができます。

それでは、信仰の三段階はどうでしょうか？ みことばどおり行なえるのが信仰の三段階ですが、信仰の岩の上に堅く立てられる前ならば、このようなことにあったら、感情が揺れ動いたりもします。真理を知っているので、「感謝しよう、喜ぼう」と心を治めて我慢するけれど、心の奥底から、完全に感謝がわき出ません。

一方、信仰の四段階に入った人は、どんな悔しいことにあっても、心が全然揺れ動かないのです。神の御前で罪を犯さなかったし、自分の心に責められることがないので、そのようなことで感謝と喜びが消えることはありません。むしろ、イエス様がそうされたように、敵をも祝福して、相手が罪を犯さないように憐れんで祈る心です。このように同じ状況でも、信仰に応じて反応が違い、心の香が神の御前に立ち上る程度が違います。

たとえてみましょう。親が突然危篤になり、急に手術をしなければなりません。その時、お金がたくさん入っているカバンを見つけました。すると、信仰の一段階や二段階の入り口では、そのお金を自分が使ってしまうこともあります。信仰の二段階では、二つの心、すなわち、善なるものに従おうとする御霊に属する心と、自分の欲に従おうとする肉の願いが戦います。そのうちに「このお金はとても必要だ」と肉の願いが勝つと、良心の呵責を感じるものの、そのお金を使ってしまうのです。

しかし、三段階になると、「このお金さえあれば問題が解決できる」と、しばらく真理に逆らう思いをすることもありますが、結局は正しい良心に従って、持ち主を捜します。

ところが、信仰の四段階になると、次元が全く違います。自分がいくら必要でも、他人のものを取ろうという心そのものがないので、少しも悩みません。「持ち主はどれほど悩んでいるだろう」と心配になり、一刻も早く持ち主を捜そうとするだけです。

このような心になれば、神様の御前にも人の前にも、一点の恥もなく大胆になれるのです。心に悪があるので、人との問題や周りの環境によってつらくなり、悩むのです。心に悪がなければ、いつも聖霊に満たされていて、環境にかかわらず幸せで安らかなのです。

2. 信仰の四段階の特徴

1) どんな場合でも条件なしに神様を愛する信仰

信仰の四段階は、神様を愛するために努力するのではなく、自然に心の底から愛がわき出ます。何かの代価を期待して愛するのではなく、どんな場合でも愛するので、戒めを守る時も、何かの答えや祝福をいただくために守る、あるいは、戒めを守らないと災いにかうのか怖いから守るものではありません。私たちがまず愛された神様の愛を胸にしみるほど感じるので、神様を愛して戒めを守ることがあまりにも当然なのです。

ダニエルは、神様の前に祈れば獅子の穴に投げ込まれることを知ってながらも、感謝の祈りをささげました。「神様、助けください。みこころを守ろうとして、命が危なくなりました」と、心配して悲しみの祈りをささげたのではなく、かえって安らかに感謝の祈りをささげました。神様を愛して、そのみこころを行なうだけであり、その結果については、ただ神様にゆだねます。それで、生きても死んでも感謝だけなのです。

ダニエルの三人の友だちもそうでした。偶像を拝まないなら火の燃える炉の中へ投げ込むという王の命令があっても、彼らは「もし、そうならば、私たちの仕える神は、火の燃える炉から私たちを救い出すことができます。王よ、神は私たちをあなたの手から救い出します。しかし、もしそうでなくても、王よ、ご承知ください。私たちはあなたの神々に仕えず、あなたが立てた金の像を拝むこともしません。」(ダニエル3:17-18)と告白しました。火の中からも救い出せる神様の力を強く信じただけでなく、もしそうでなくてもかまわない、すなわち、生きても死んでも神様のみこころを行なうだけと思ったのです。

パウロとシラスもそうでした。福音を伝え

て、数多くむちで打たれ、足かせをつけられ、深い牢に入れられましたが、少しでも神様を恨んでつぶやかず、これからどうなるのか、心配もしませんでした。むしろ御霊に感じて喜んで感謝して、神様に栄光をささげる賛美を歌いました。これが、信仰の四段階の姿であり、神様が願われるまことの子どもの姿です。ですから、この感動の賛美が響きわたると神様が働かれて、突然、大地震が起こって、獄舎の土台が揺れ動き、たちまちとびらが全部あいて、みな鎖が解けてしまったのです。

2) 神様を第一に愛する信仰

神様を第一に愛すると、世の富と栄華も惜しくなく、家族や自分のいのちよりも神様を愛します。〈ペリピンへの手紙3:7-8〉で、使徒パウロは「しかし、私にとって得であったこのようなものをみな、私はキリストのゆえに、損と思うようになりました。それどころか、私の主であるキリスト・イエスを知っていることのすばらしさのゆえに、いっさいのことを損と思っています。私はキリストのためにすべてのものを捨てて、それらをちりくたかと思っています。それは、私には、キリストを得、また、」と告白しています。以前、大切に持っていたもの、世で尊く思われるすべてを、主のためにならちりくたかのように捨てられる、ということです。

〈マルコの福音書10:29-30〉にも「イエスは言われた、『まことに、あなたがたに告げます。わたしのために、また福音のために、家、兄弟、姉妹、母、父、子、畑を捨てた者で、その百倍を受けない者はありません。今のこの時代には、家、兄弟、姉妹、母、子、畑を迫害の中で受け、後の世では永遠のいのちを受けます。』とあります。

このように行なえば、初めは迫害されることもあり、信仰が少ない時はそのために苦しむこともあります。しかし、最後まで信仰が変わらずに聖別された聖徒の生き方をしていくと、結局は世の人々からも認められるようになります。しかも霊に入って、神様を第一に愛する信仰になれば、サタンが働けないので、迫害がなくなるだけでなく、むしろ周りの人々からも真実なクリスチャンだと尊く思われるようになります。

私も、主を受け入れてからは、主日を守るために家族や親戚の集まりに行かなかつたし、目上の方に酒をすすめないなど、以前とは違う姿を見せると、初めは家族や親戚がさびしく思ったりしました。しかし、時間が経つほど、家族や親戚も私をもっと愛して信頼するようになって、私たち家族に配慮して、さまざまな行事も主日を避けるようになりました。

このように、皆さんが本当に信仰をもって行なって妥協しなければ神様が働かれま

す。そして、ついに神の栄光を現すことができるのです。

しかし、誤解してならないのは、家族より神様のほうが大切で、肉の情を断たなければならぬからといって、それが家族に冷たくして、当然すべきことをしなくてもよいという意味ではない、ということです。

神様の戒めを破るのでないなら、むしろ神を信じない人よりもっと家族に仕えて、親子、あるいは家族の一員として、全家を通じて忠実でなければなりません。主を信じない家族も、その姿を見て感動して救われるようによく仕えることが、神様のみこころでもあるのです。ただし、創造主であり、私たちの霊と魂を生んでくださり、地獄の刑罰から救い出してくださいました神様を信じるなら、誰よりも神様を愛することが当然なのです。

このように、神様を第一に愛するならば、善と愛をもってすべての人に仕えて、すべてのことに相手の益を先に求めるようになります。ですから、周りの人々をまことに霊的に愛することができます。

ですが、このような信仰の水準に至らなかった人は、信仰の大きい人が理解できないので、自分の立場に合わせて誤解することがよくあります。たとえば、ある人は「アブラハムがイサクをささげたとき、ひどくためらって、苦しみながら山に上った」と言ったりします。

しかし、アブラハムの信仰はそのような水準ではありませんでした。アブラハムは、神様が命じられることに全くためらったり、葛藤したりしなかったのです。イサクを生か返らせてくださることを確かに信じただけでなく、もしそうでなくても、神様が「イサクのいのちをささげなさい」と言われるならば、感謝してささげられる信仰でした。いくら大切なかわいひの子であっても、神様は自分と息子のいのちを下さった主人なので、そのいのちをささげなさいと言われるならば、いくらでもささげられるのです。したがって、アブラハムはためらうことも、苦しむこともなく、ただ喜んで聞き従いました。その結果、信仰の父という、とても大きな祝福をいただくことができたのです。

〈箴言8:17〉に「わたしを愛する者を、わたしは愛する。わたしを熱心に捜す者は、わたしを見つける。」とあるように、神様を第一に、どんな場合でも愛するとき、神様のほうからも、そのような子どもをこの上なく愛して、いつも神様を見つけるように働いてくださいます。魂に幸いを得ているように祝福して、すべての点でも幸いを得て、健康であるようにし、この地上でも天の御国でも輝かせてくださいます。

このように魂に幸いを得ている祝福については、次に語ります。

幸せ満点、喜び満点、愛情満点、うちの家族

パウ・スヨル執事(2大大15教区)

「君、僕、きょう交通事故にあったんだ。」
「えっ？ 本当？」

交通事故から守られた夫

その時も夫が冗談を言っていると思った。事故にあったようには全然見えなかったからだ。話はこうだった。自転車で通勤している夫は、横断歩道を青信号で人が半分ほど渡っていた時に渡り始めたが、曲がってきたタクシーとぶつかったのだ。ところが、痛みはおろか、地面に落ちる感じさえなかった。急いで到着した救急車で病院に行き、いろいろ検査を受けたけれど、全く異常がなかった。夫はむしろタクシーの運転手を心配して、刑事処罰を受けないように話をしただけでなく、示談金も要求しなかった。夫を守ってくださったすばらしい神様に感謝するばかりだった。何よりも夫が相手のことをまず考える人になったことがうれしかった。前ならばすぐ入院していたはずなのに、神様のみことばがそれほど夫を変えさせたのである。わずか数年前も私が教会に通うのを良く思わなかった、迫害していた夫ではないか。

過ぎし日

1992年、「万民中央ニュース」を読んで恵みを受けた私は、ダニエル徹夜祈祷会に参加した。祈っているうちに聖霊に満されると、誰が勤めなくても万民中央教会に登録して、熱い信仰生活が始まった。実は、以前も信仰生活をしたことはしたが、天国と地獄があるという確信がなかった。ところが、目に見えるように、手で触れるように確かに信じられるようにしてくれる堂会長イ・ジェロク牧師のメッセージを聞くと、私の魂はまるで水を得た魚のように、生き生きとしき始めた。私はみことばの海にたっぷり浸り、ひたすら天国に向かって走っていたから、周りを振り返る暇がなかった。ますます募る夫の不平も、子どもたちの悩みも、目に映らなかった。私の心にぎっしりと満たされた主の愛と天国の望みで慰められた。夫との葛藤は深くなっていった。今思えば、実に知恵のない私だった。家族福音化のために祈っているうちに、神様はふっと私の欠けているところを悟らせてくださった。「神を愛



左から息子サンギユ、夫イ・ジェウ聖徒、娘ヘリム、本人

すると言いながら兄弟を憎んでいるなら、その人は偽り者です。目に見える兄弟を愛していない者に、目に見えない神を愛することはできません。」(第一ヨハネ4:20) 夫を心から愛せない私の姿を発見して、涙で悔い改めた。これまでおろそかにしていた家庭を顧みて、夫の厳しい言葉にも、笑顔で「そうね、次は気をつけるわ」と言いながら、夫の心を推し量って仕えようと努めた。

息子をいやしていただき、夫を導かれた神様

そのうち、当時小学校6年生だったサンギユが、ボール遊びをしていて倒れ、足の指が折れた。おなかの中にいた時から教会に通っていたサンギユは、具合が悪ければいつもお父さんの言うことを聞くだけだったが、その日は「お父さん、僕、病院に行きたくない。教会に行くと、堂会長先生に祈りを受ければなおると思う。お父さんさえないと言ってくれれば、僕はそうしたい」と言った。その主日、夫はよく歩けないサンギユを教会まで連れていった。

サンギユは海外出張中の堂会長先生の代わりに、チョ・スヨル牧師に神の力が込められたハンカチの祈り(使徒9:11-12)を受けた後、すたすたと階段を走って下りていった。その姿を見た夫は、その日から主日大礼拝をささげるようになった。

握手だけでいぼが消えた

「お母さ～ん、いぼが消えた！」ヘリムの声が浮き立っていた。「あら、本当になくなったね！」手の甲にあった大きないぼが今はない。ヘリムは3年前から足と膝、手の甲にいぼが30個くらいあった。手の平にボールペンで「いぼのいやし」と書いては堂会長先生と握手しただけなのに、いぼが一つ消えたのである。思春期の少女ヘリムにとって大きないぼは傷になっただろう。

信仰が与えられたヘリムは、一週間後に堂会長先生に祈りを受けた。その後、小さいいぼの一部は消えて、一部はポロポロと目に見えて取れ、嘘のようにきれいになった。このことで神様の愛を感じるようになったヘリムは、以前とは違って霊とまことによって礼拝をささげている。

ところが、娘よりもっと喜んだのは夫だった。ヘリムの手を見て、いつも心を痛めていた夫は、大喜びして主日夕方礼拝まで完全にささげて十分の一献金をする信仰になった。だから神様は、公義の基準を満たした夫を交通事故からも傷つかないように守ってくださったのである。主日になれば家族全員が並んで座り、礼拝をささげられるようにしてくださいという願いに答えられた私は、とても幸せだ。その上、今は金曜徹夜礼拝を終えて家に帰れば、朝ご飯の心配をしなくてもいいように夫がぐすり眠ってくれていて、もっと感謝だ。



写真説明いぼがいやされたヘリムの手(祈りを受ける前:左、受けた後:右)

過ぎた日を振り返れば、もっとよく仕えなかったことが夫に対して申し訳ない。夫もまた、良い教会がわからなくて迫害したことを内心すまなく思っているようだ。確かな体験と細やかな愛でわが家を信仰の道に導かれた愛の神様に、すべての感謝と栄光を帰す。

MMTC「十字架のことばキャンプ」に行ってみよう

チョ・イエジン姉妹(中高生部教会学校高1宣教会)



EU本部があるベルギーのブリュッセルに到着して、あちこちにスプレーでなぐり描きされている落書と扇情的なポスターを見て、霊的に低迷した雰囲気がひと目でわかった。しかし、ここでも聖潔の新しい風が起きていた。それはMMTC(マンミン世界宣教訓練院)「十字架のことばキャンプ」。堂会長先生に現れる神の力あるわざを紹介する「神の力」ビデオ上映の後、イギリスのロンドン万民教会ジェイン・ムプロゴマ宣教師のあかし説教とギ・ダビツ牧師の賛美リードの後、ハンカチの祈りが続いた。訓練生もそれぞれ、堂会長イ・ジェロク牧師がイエス・キリストの御名によって祈り、神の力が込められたハンカチで切に祈った。涙を流して主の恵みを求める彼

ら。異言を受けて喜ぶ彼ら…。あつという間に教会は熱い聖霊の臨在で満たされた。スペイン語の通訳奉仕のために参加したある人は、2週間、お腹にひどい皮膚炎があつて苦しんでいたが、ノ・ヒョンスク宣教師がムアの甘い水をつけてハンカチで祈った翌日、完全にいやされた。その後カトリックから改宗して、主を受け入れた。ある人はフランスからインターネットを見て参加したが、毎時間恵みを受ける姿を見て「世界教区化」のビジョンが実感できたという。

「私は彼らのためにはたして何ができるだろうか？」幼い時から万民教会の恵みの中で生きてきた私だが、なぜか知らない責任感を感じた。

<10月 日本支教会 行事日程>

日付	教会名	行事	講師	日付	教会名	行事	講師
10/17	八千代	ハンカチ集会	青木久尚牧師	10/28	東京田端	ハンカチ集会	チョン・ギョンテ牧師
10/18	舞鶴	ハンカチ集会	キム・マルコ牧師	10/28	飯田	ハンカチ集会	柳承吉牧師
10/18	東京	ハンカチ集会	チェ・ピョンナン伝道師	10/28	山形	ハンカチ集会	チャン・カンソプ牧師
10/24	別府	夏季修練会	加藤勲牧師	10/31	名古屋	ハンカチ集会	時國みや子牧師

娘の痙性四肢麻痺がいやされて、幸せを運んできた聖潔の福音

ジェニファー・ラケリ(アメリカ、25才)



ジェニファーと娘チェルシー・アレクサンダー

聖潔の福音を聞く前、私の人生はむなしさと恐れ、憂いと涙、悲しみの連続でした。朝、目を開けると「神様が私を連れてってくださったらよかったのに」と言いながら起きていました。

私には先天性脳性麻痺の娘がいます。痙性四肢麻痺で、チューブを通して食べ物を取るなど、言い尽くせない苦しみを味わっていました。その後、二人目をみごもったとき、夫は私を肉体的、精神的に虐待して、

周りの人が私を遠ざけたので、生きていく理由が見つかりませんでした。それ以上耐えられなくて、娘と一緒に実家の母の家に移りました。

ある日の朝、心の休みがほしくて、キリスト教の番組を見ようとテレビをつけました。ところが、テレビにつないであったケーブル受信機に原因不明の故障が起きて、GCNチャンネルだけが映ったのです。そこから流れてくるイ・ジェロク牧師のメッセージに感動して、その後6か月間、一日に数回GCNの番組を見ました。また、イ・ジェロク牧師の著書『天国(上)』と『死の上がり框で味わう永生』を読んで、人生の意味を考え直しました。どんな状況でも神のみことばどおり生きなければならぬことを悟りました。そこには、肉の欲を捨てて神様を第一に愛すること、全家を通じて忠実であるというみことばの霊的な意味が明快に解き明かされていました。それで、私は神様に「この聖潔の福音を伝えてくれる教会に導いてください」と切に祈りました。数か月

後、シム・ジェームズ牧師のEメールアドレスを知って、ニューヨーク・インターナショナル万民教会に行ってみました。事情を聞いたシム・ジェームズ牧師は、堂会長イ・ジェロク牧師に写真の祈りを受けようと言われました。私と娘の写真をソウルに送ると、イ・ジェロク牧師はイエス・キリストの御名によって祈ってくださいました。その後、眼球と筋肉のけいれん、睡眠障害などがいやされました。前は物を手でつかむほどの力もなかったし、いつも病院通いをして、薬を飲まなければなりませんでした。まるで植物人間のような状態でした。今は食事もよくできて、体重も増えました。賛美も歌えるし、歩くこともできて健康に育っています。これらすべてが神様の力です。

過ぎた苦しみの時が生きておられる神様を見つけるための過程だったと思うと、すべてが感謝です。私は今、とても幸せです。これからは神様の栄光のために生きていけるからです。

新型インフルエンザが完全にいやされました

タニチャ・ピヤジョン・ガブリエル(ペルー、11才)



今年7月11日の夜、突然激しい頭痛とともに全身、骨の髄まで痛みが押し寄せてきました。下痢とともに腹痛が始まって、熱が40度まで上がりました。苦しみながら夜を明かした私は、翌朝早く救急車で病院に行きました。検査の結果は新型インフルエンザでした。どうしようかと思いました。お医者さんは、入院してマスクを着けて隔離しなければならない、多量の抗生剤を飲んで注射を打たなければならないと言いました。私と家族は急いでペルー万民教会のチャン・チョンヨン牧師に電話して、イ・ジェロク牧師がイエス・キリストの御名によって祈り、神の力が込められたハンカチ(使徒19:11-12)で祈りを受けました。

その時、私は強い火が自分のからだを取り巻くのを感じて、「いやされた」という確信が与えられました。そして、家族と一緒にひざまずいて切に神様に祈りました。神様が私がみことばどおり生きられなかったことなどを思い出させてくださいました。

申し訳なくて、心がとても痛みました。悔い改めの祈りをした後、熱が下がり始め、一つ一つ症状が消えて、私はその夜ぐっすり眠れました。翌日、チャン・チョンヨン牧師が電話でもう一度ハンカチの祈りをしてくださると、残っていた痛みと下痢の症状が完全におさまりました。からだはすぐに回復しました。薬も飲まないで注射も打たなかつ

たし、病院での治療も全く受けませんでした。このことで私と家族は大きい信仰を持つようになり、さらに愛で一つになるきかけになりました。奇跡を起こしてくださった神様に感謝と栄光をお帰しします。

新型インフルエンザとは、インフルエンザウイルスのうち、変異によってヒト間の伝染能力を新たに持つようになったウイルスを病原体とする感染症である。患者数は世界で20万人にも達し、日本でも5000人を越え、死者も日増しに増えている。今年の秋、大流行する心配がある。

日本支教会の連絡先

イエス・キリスト飯田万民教会

担任：柳 承吉(ユ・スングル)牧師
 崔 乘蘭(チェ・ビョンナン)伝道師
 山下 好美 牧師
 安達 真理子 伝道師
 イ・ハンヨン宣教師
 住所：〒395-0807
 長野県飯田市鼎切石 3883-4
 連絡先：T) 0265-56-8286
 F) 0265-56-8287
 e-mail：imc@s9.dion.ne.jp
 ホームページ：http://iidamanmin.to.cx/

名古屋万民教会

担任：時國 みや子 牧師
 住所：〒465-0014
 名古屋市名東区上菅 1-916
 連絡先：T) 052-774-8874
 F) 052-774-8883
 e-mail：nago_mhc@maroon.plala.or.jp

イエス・キリスト山形万民教会

担任：チャン・カンソプ牧師
 住所：〒999-3716
 山形県東根市蟹沢 1486-4
 連絡先：T/F) 0237-43-0771
 e-mail：ymgtjks@gmail.com

イエス・キリスト別府万民教会

担任：加藤 勳 牧師
 住所：〒874-0924
 大分県別府市餅ヶ浜町 4-41
 連絡先：T/F) 0977-23-8980
 e-mail：b.manmin@galaxy.ocn.ne.jp

イエス・キリスト大阪万民教会

担任：キム・モニカ伝道師
 キム・マルコ牧師
 住所：〒591-8023
 大阪府堺市北区中百舌鳥町 5-775-15
 連絡先：T/F) 072-220-5289
 e-mail：osmanmin@hotmail.com
 ホームページ：http://www.manmin.jp

イエス・キリスト旭川万民教会

担任：小松 幹 牧師
 住所：〒071-8144
 北海道旭川市春光台4条 3丁目 11-23
 連絡先：T/F) 0166-53-0652
 e-mail：asa-mhc@hokkaido.email.ne.jp

イエス・キリスト東京田端万民教会

担任：チョン・ギョンテ牧師
 ソン・アミ宣教師
 住所：〒114-1102
 東京都北区田端新町 2-25-3
 連絡先：T) 03-3809-3326
 e-mail：manjeong17@yahoo.co.jp
 ホームページ：http://tabata.manmin.or.kr/

イエス・キリスト川崎万民教会

担任：平良エリカ 伝道師
 住所：〒210-0818
 神奈川県川崎市川崎区中瀬2丁目
 12-8 グリーンヴァレ 301号室
 連絡先：T) 044-277-0178

イエス・キリスト松本万民教会

担任：伊藤 正明 牧師
 伊藤 時子 伝道師
 住所：〒399-0033 長野県松本市笹賀 4343
 連絡先：T) 0263-57-0003
 F) 0263-57-0015
 e-mail：mmcito4343@nifty.com

イエス・キリスト舞鶴万民教会

担任：キム・マルコ牧師
 キム・モニカ伝道師
 住所：〒624-0913
 京都府舞鶴市宇上安久 138
 連絡先：T) 0773-75-5656
 F) 0773-77-7888
 e-mail：osmanmin@hotmail.com

岡山万民教会

担任：時國 裕博 牧師
 住所：〒701-2155 岡山市北区中原460
 連絡先：T) 086-275-7276
 e-mail：oky_777@blue.plala.or.jp

イエス・キリスト八千代万民教会

担任：青木 久尚 牧師
 住所：〒276-0045
 千葉県八千代市大和田 670
 連絡先：T/F) 047-483-3587
 e-mail：hisanao@kyi.biglobe.ne.jp

イエス・キリスト銚田万民教会

代表：飯塚 優
 住所：〒311-2102
 茨城県銚田市台濁沢1080-6
 連絡先：T) 0291-39-9177
 e-mail：surf9snow9@yahoo.co.jp

イエス・キリスト東京万民教会 (東京万民宣教センター)

担任：崔 乘蘭(チェ・ビョンナン)伝道師
 リュ・ウンギョン伝道師
 住所：〒167-0051
 東京都杉並区荻窪 2-29-13
 連絡先：T) 03-6915-1740
 e-mail：imc@s9.dion.ne.jp

横浜鶴見福音教会(協力)

担任：前田 実隆 牧師
 住所：〒230-0047
 神奈川県横浜市鶴見区下野谷町 3-104-4
 連絡先：T) 045-521-5843